

図書室便り

No.8 霧島市立溝辺中学校 2023. 11

11月3日は、『文化の日』です。内閣府「国民の祝日について」によると、文化の日は日本国憲法が公布された日と同じ日付であるため、新しい憲法に基づいて自由と平和を大切にするという意味が込められているのだそうです。そこで、11月3日～5日の3連休を美術館や博物館を見学したり、図書館で自由や平和をテーマにした本を読んだりして秋の訪れを感じながらゆっくりとすごしてもみるのもいいのではないのでしょうか？

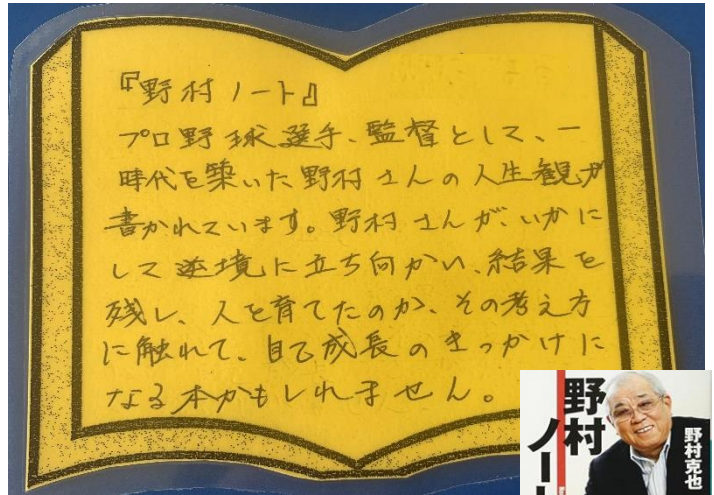
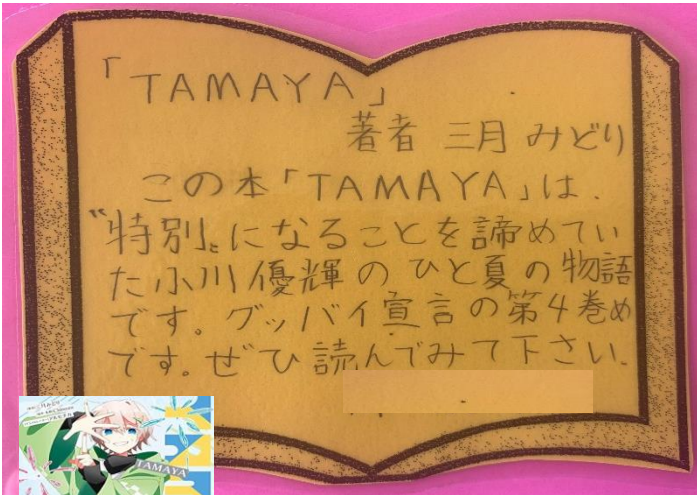
11月の学習部おすすめ本

1年 Y・S さん
「TAMAYA」

三月 みどり 著

教頭 N・T 先生
「野村ノート」

野村 克也 著



新着本紹介

「だれもみえない教室で」

工藤 淳子 著

小6のクラスで起きた、ランドセルに金魚のエサが入れるという事件。被害を受けた子も、エサを入れた子たちも、いじめが起きている空気を感じつつ声をあげられなかったクラスメートも、そして、加害者としていじめに荷担した過去を持つ大人だって、いじめという「現実」からはけっして逃れられない。痛烈なメッセージが込められた一冊です。



「私たちの世代は」

瀬尾まいこ 著

いまを生きる私たちの道標となる物語の誕生！
「明日が怖いものではなく楽しみになったのは、あの日からだよ」今でもふと思う。あの数年はなんだったのだろうか。不自由で息苦しかった毎日。家で過ごすことが最善だとされていたあの期間。多くの人から当たり前にあるはずのものを奪っていったであろう時代。それでも、あの日々が連れてきてくれたもの、与えてくれたものが確かにあった。



「だれも知らないスポーツの実は・・・」

白旗和也 著

『日本体育大学教授』がおしえる！ スポーツ・オリンピックが100倍楽しくなる事典。全35種類のスポーツ&パラスポーツ/70以上のこれまでのスポーツの常識をひっくり返す「実は・・・」を集めた大人も楽しめる今までにない新しいスポーツ本！ あらゆる切り口からスポーツの「びっくり」に触れながらそれぞれのスポーツの多様な魅力を知ることができます！



「贖罪」

イアン・マキューアン 著

13歳の夏、作家を夢見るブライオニーは偽りの告白をした。姉セシリアの恋人ロビーの破廉恥な罪を。それがどれほど禍根を残すかなど、考えもせずに引き裂かれた恋人たちの運命。ロビーが味わう想像を絶する苦難。やがて第二次大戦が始まり、自らが犯した過ちを悔いたブライオニーは看護婦を志す。すべてを償うことは可能なのか。そしてあの夏の真実とは。現代英文学の金字塔の名作！





新着本紹介つづき



「ココが変わった!! 18歳成人」

南部義典 著

成年年齢が18歳になり、何がどう変わったのか、全て知ってますか？選挙権はもとより、国籍や性別の変更は？罪を犯したら？結婚は？年金や税金も払うの？裁判員？医師免許もとれるようになったってホント？まで、法律はどう変わったのか、マンガで分かりやすく解説!



「退屈をあげる」

坂本千明 著

イラストレーターで紙版画家の著者が、紙版画家のあたたかなモノクロームの絵は、ノスタルジーとともに、わたしたちをやさしい世界へと連れて行ってくれる。私家版としてつくられた冊子は、感想がSNSなどで広がり大きな話題となった。愛猫「煤」の視点で出会いと別れを描く画文集。



「君と夏が鉄塔の上」

賽助 著

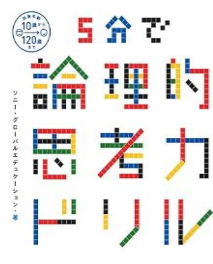
鉄塔の上に、男の子が座ってる！鉄塔マニアの地味な伊達(だて)は中学校最後の夏休みを、ダラダラ過ごしていた。しかし登校日の学校で、破天荒な同級生、帆月(ほづき)から「鉄塔のうえに男の子が座っている」と声をかけられる。次の日から、幽霊が見えると噂される比奈山(ひなやま)も巻き込み、鉄塔の上に座るといふ男の子の謎を解き明かそうとするのだが、



「5分で理論的思考カドリル」

ゾニー・グローバルエデュケーション 著

自ら考えて結論を導く力は必要不可欠。そんな、今一番必要とされる「論理的思考力」を、楽しく、手軽に身につけられるドリルが、『5分で論理的思考カドリル』です。シンプルながら意外と奥深い、珠玉の問題が満載全35問の問題は、スッキリ見やすい見た目でありながら、思わず頭をひねる面白い良問揃い。家庭で、学校で脳を活性化させましょう!



『それを世界と言うんだね』

綾崎隼 著

“世界”の謎を解き、命を与えられた意味を知ったとき、ふわりと心がほどけ、温かな涙があふれる傑作! 読者から募集した物語をカンザキイオリが楽曲化! バーチャルシンガー・花譜が歌う「それを世界と言うんだね」を綾崎隼が描く。



「新しい「歯」のトリセツ」

照山裕子 著

自分の歯で長く食べ続けるにはまず、自分の歯をよく知ることが大切です。鏡で自分の歯を見ずに、ただ歯ブラシを口に入れていないでしょうか？歯みがき前に「いーあー」を口を開きながらストレッチし、口の中の状態をよく確認してください。これは、口のトレーニングにも役立ちます。本書は“食べる力”を長く保ちたい人に役立つ情報を、わかりやすくまとめた「歯」のトリセツです。



「ラストで君は「まさか!」と言う 戦慄の悪夢」

PHP研究所 著

3分間ショートストーリー×17話! 朝読にもぴったり! ★夢の中に現れた謎の数字。その数字の正体とは……。『1103』、「夢日記」と書かれたノートには、付き合っている彼女の名前が書かれていて……!? 『彼女の秘密』など、「夢」にまつわるお話をたっぷり収録! ラストには「まさか!」のエンディングをお約束!



「悪口ってなんだろう」

和泉悠 著

悪口とは何か？悪口と軽口や冗談は何が違うのだろうか？まっとうな批判とは何が違うのだろうか？どうして「タコ」とか「ザコ」とか他の生き物を指すことばで悪口を言うのだろうか？どうして悪口を言うのは楽しいのだろうか？悪口はなくならないのだろうか？こうした問いに答え、悪口を通じて人間の本性に迫る。



『THE LOCK ①・②』

P.D.バッカリアオ 著

イタリア×学研の共同制作! 謎の招待状によって、とある村へ集められた、10人の子どもたち。世界の存亡をかけたゲームが、今、始まる。大人気イタリア人作家が日本の読者へ贈る、スリル満点の謎解き冒険ミステリー!

